

様式2 厚木市報道資料		発信日	
 (式典、催し、大会等)		令和5年11月21日	
～迫力ある書道パフォーマンスも披露～ 「書家・金澤翔子展」を開催			
1	主催	厚木市	
2	実施主体	厚木市文化芸術発信強化運営委員会（委員長：紙崎隆）	
3	日時	令和5年12月21日～26日 10時～16時（最終日12時まで） 【席上揮毫】 令和5年12月23日 14時～14時30分	
4	場所	あつぎ市民交流プラザ アートギャラリー (アミューあつぎ5階)	
5	目的	障がい者週間（12月3日～9日）の関連事業として、世界で活躍するダウン症の書家・金澤翔子さんの作品展を開催し、より身近に文化芸術を感じていただくことを目的とします。	
6	概要	<ul style="list-style-type: none"> ●「書家・金澤翔子展」 びょうぶ作品12点を展示。入場無料。 ●席上揮毫 縦横140センチの紙に「愛」の文字を書く。先着100人（当日13時10分から会場で受け付け）。無料。 ■関連イベント ①舞台あいさつ 「あつぎのえいがかん kiki」（アミューあつぎ9階）で、12月22日～28日に金澤さんのドキュメンタリー映画を上映します。12月23日、11時30分からの回の上映終了後には、舞台あいさつを実施（映画観覧者のみ参加可）。 ②書道協会のワークショップ 12月23日、14時30分～16時。好きな字を書いて作品を作るワークショップを開催。無料。申し込み不要。 	
7	PRしたい内容、セールスポイントなど	<ul style="list-style-type: none"> ・金澤さんのびょうぶ展としては過去最多の展示数です。 ・大型の作品が多く、力強い筆跡を間近で鑑賞できます。 ・席上揮毫は、金澤さんの迫力ある筆づかいを、直接見られる貴重な機会です。終了後は金澤さんが参加者と交流します。 	
8	添付資料	周知チラシ	
9	本資料の問合せ先	部課名	協働安全部 文化生涯学習課（課長 能條 隆広）
		電話	(046) 225-2429

書家
金澤翔子展

厚木で
愛
を書する

会場

市民交流プラザ / 入場無料
アミューあつぎ 5F アートギャラリー

期日

2023年 12月21日(木)～26日(火)
10:00～16:00 (最終日12:00)

席上
揮毫

金澤さんによる書道パフォーマンス

12月23日(土) 14:00～

先着100人・当日13:10～受付開始

問合せ 文化生涯学習課 TEL.046-225-2508

主催・厚木市 / 実施主体・厚木市文化芸術発信強化運営委員会



聖地に・厚木市

書家・金澤翔子展

2023年12月21日～26日、10時～16時(最終日は12時まで)。あつぎ市民交流プラザ5階アートギャラリー。屏風作品7点(予定)を展示します。入場無料。

《関連イベント》 ●展示会場にて席上揮毫＝12月23日、14時～14時30分。先着100人(当日13時10分から受付)。無料 ●あつぎのえいがかんkikiにて舞台挨拶＝12月23日、11時30分から上映する映画「共に生きる 書家金澤翔子」終了後。映画鑑賞者のみ。



書家・金澤翔子さんプロフィール

東京都出身。書家。5歳から書家である母に師事し書を始める。

伊勢神宮や東大寺を始めとした日本を代表する神社仏閣で奉納揮毫や個展を開催。ローマ教皇来日に伴いバチカンに大作「祈」を寄贈。

愛媛県美術館や福岡県立美術館、上野の森美術館、森アーツセンターギャラリーなど多くの有名美術館でも個展を開催する。

国外ではアメリカ、イギリス、チェコ、シンガポール、ブラジル等の世界各地で個展や公演を開催し大きな反響を呼ぶ。東日本大震災後に発表した自身代表作「共に生きる」を合言葉に、被災地への応援や、障害者支援など共生社会実現に向けた活動にも継続的に取り組んでいる。

2013年、紺綬褒章を受章。

【代表作品】

- 2009年「風神雷神」京都建仁寺所蔵
- 2011年「共に生きる」画廊翔子所蔵
- 2011年「華厳」東大寺奉納揮毫
- 2013年「巖島」巖島神社所蔵
- 2015年「飛梅」福岡太宰府天満宮所蔵
- 2015年「道心」比叡山延暦寺所蔵
- 2016年「斎王」伊勢神宮所蔵
- 2016年「春日大明神」春日大社所蔵
- 2017年「世界一大きな般若心経」龍雲寺所蔵
- 2019年「祈」ローマ教皇庁(バチカン)所蔵
- 2020年「以和為貴」法隆寺所蔵
- 2021年「戒律」唐招提寺所蔵
- 2021年「出雲」出雲大社所蔵
- 2021年「和顔愛語」西本願寺所蔵
- 2023年「飛翔」高野山金剛峯寺奉納揮毫

【主な活動実績】

- 2011年 NHK 大河ドラマ「平清盛」題字制作担当
- 2013年 東京国体開会式で巨大文字「夢」揮毫(5m×5m)
- 2014年 上皇陛下御製を謹書(天皇御在位中)
- 2015年 ニューヨーク国連本部の国際会議で日本代表スピーチ
- 2017年 上野の森美術館で個展開催 8日間で4万人の来場を記録
- 2019年 ローマ教皇来日に伴いバチカンに大作「祈」を寄贈
- 2020年 東京オリンピック公式アートポスター「翔」制作
- 2023年 イギリス公演 ロンドン/リッチモンド 席上揮毫・作品展示



12月22～28日

あつぎのえいがかんkikiで
映画「共に生きる 書家金澤翔子」
上映決定

金澤翔子さんが
舞台挨拶を実施します。

12月23日(土)

11:30～の回

(上映終了後に舞台挨拶)

NHK大河ドラマ「平清盛」の題字を担当するなど、今や天才書家と呼ばれるようになった金澤翔子は、5歳から母・泰子を師として書道を始め、純粋な心で揮毫する彼女の“書”は数多くの人々を魅了してきた。生まれてすぐにダウン症と診断された彼女に母である泰子がどう向き合ってきたのか、どうやって彼女の才能を開花させていったのか、天賦の才能を二人三脚で開花させた金澤翔子と母・泰子を追った初のドキュメンタリー映画。／上映時間: 79分